

# 日本建築学会北海道支部 2006 年度第 1 回常議員会議事録

記：齊藤

日時：平成 18 年 8 月 2 日 18:30～21:00

場所：日本建築学会北海道支部事務所（大通ダイヤビル）

出席：支部長：絵内

常議員：小篠、久保田、澤田、田中、藤原、伊藤、齊藤、深澤、星、溝口

総務委員会委員長：羽山

代議員：武田

事務局：菊地

オブザーバー：城 前支部長

## 配布資料

- |  |               |
|--|---------------|
| (1) 前回（2005 年度第 5 回常議員会議事録(案)）                   | 資料 1-1        |
| (2) 理事会・支部長会議報告（支部長より）                           | 資料 1-2 及び回覧資料 |
| (3) 支部経理報告                                       | 資料 1-3        |
| (4) 北海道建築設計会議より                                  | 資料 1-4        |
| 1)「赤レンガ建築賞」存続要請文について                             |               |
| 2)「建築士の日」声明文について（通常常議員会済み）                       |               |
| (5) 道内工業高校卒業設計巡回展について                            | 資料 1-5        |
| (6) 環境工学専門委員会主催シンポジウムについて                        | 資料 1-6        |
| (7) 第 26 回北海道建築作品発表会について                         | 資料 1-7        |
| (8) 支部共通事業設計競技「近代産業遺産を生かしたブラウンフィールドの再生」の支部入選について | 資料 1-8        |
| (9) 後援依頼について                                     | 回覧資料          |
| 1) (社)北海道建築士会より「安藤忠雄特別講演会」                       |               |
| 2) (社)北海道建築設計事務所協会より「第 31 回北の住まい住宅設計コンペ」         |               |
| 3) 北海道立三岸好太郎美術館より「平成 18 年度特別展モダン建築の夢」            |               |
| (10) 常議員の役割担当について                                | 資料 1-9        |
| (11) その他   |               |

司会：久保田

## 議事内容

支部長挨拶：

### 【報告・承認事項】

- |  |             |
|--|-------------|
| (1) 2005 年度第 5 回常議員会議事録(案)                 | (小篠/資料 1-1) |
| ・ 北海道建築賞授賞式、講演会を 10 月 28 日土曜日 17:00 に日程変更。 |             |
| ・ 120 周年記念事業進んでいる。                         |             |
| ・ 札幌駅北口再開発ビル見学会も日程通り開催予定。                  |             |

(2) 理事会・支部長会議報告（支部長より）

（絵内、城/資料1-2及び回覧資料）

5月理事会(5月16日)報告/城前支部長

- ・ 資料説明
- ・ 学会本部の内部監査報告において、各委員会活動が、「成果還元達成度」により評価された。
- ・ 本部は、このような評価が有用であるとの判断しつつある。
- ・ 北海道支部の委員会活動についても評価することが必要である。
- ・ 住まいづくり支援建築会議について、今後も対応してゆく。

6月理事会(6月15日)報告/絵内支部長

- ・ 資料説明
- ・ 委託研究：本部は1社からの委託は受けない。ある支部では、1社でも受託しているらしいので、要検討。
- ・ 公益法人としての社会貢献となるかが判断材料。

7月理事会(7月18日)報告/絵内支部長

- ・ 資料説明

(3) 支部経理報告

（羽山/資料1-3）

- ・ 資料1-3の報告

(4) 北海道建築設計会議より

（澤田、久保田/資料1-4）

- ・ 第37回幹事会議事録の説明

1)「赤レンガ建築賞」存続要請文について

- ・ メールでの確認により、支部長の記名/押印を行った。（記名/押印は、金銭的な援助は行わないことが前提。）
- ・ 赤レンガ建築賞のような顕彰制度は、どのような主体がどのような趣旨・目的で、誰を対象に行うかが最も重要であると考えられることから、道が審査・表彰してきた賞の本質に照らして、「実行委員会」形式へ変更することには賛同できない。加えて、「建築学会賞」や「北海道建築賞」という建築作品の顕彰制度を持っている建築学会としては、実行委員会に参加する大義名分を見出しえない。資金的支援についても、同様の趣旨及び作品審査など公平性の面からも業界団体との共同出資による立場での同意はむずかしい。
- ・ 費用は、1,500千円（最低1,000千円）必要といわれている。（道、団体、受賞者で分けるのか?）
- ・ 今年度の予算措置がなければ、開催できないと考えるが、状況が不明確。（次回幹事会で要確認）
- ・ 8月に例年募集しているので、例年通りのスケジュールであれば、急を要する。
- ・ 支部の北海道建築賞を設けており、類似の賞に費用負担するのであれば、北海道建築賞を充実させたい。
- ・ 赤レンガ建築賞の主旨を考えると関係団体が主催（共催）者となりえない。
- ・ 主催者（共催）としての支出より、協賛寄付の方が主旨が明解。
- ・ 知名度のある公共の賞であり、多くの建築設計者や発注者にとって、励みとなっていることから、賞の存続を切に願うとともに、学会としても支援すべき。
- ・ 金額としては、常議会で決議されたら支払えるが、金額の問題ではない。
- ・ 他団体は、金銭的な支援を行うと思われる。（澤田）
- ・ 建築学会としては、賞の意義を認め、存続を要望しており、金銭的な支援は出来ないが、人的支援などは、惜しまないとのことで、意見集約。

2)「建築士の日」声明文について（通信常議員会済み）

(5) 道内工業高校卒業設計巡回展について

（久保田/資料1-5）

- ・ 日程の報告（7/10～11/27まで、道内13校巡回）

- (6) 環境工学専門委員会主催シンポジウムについて (久保田/資料1-6)
- ・ 開催報告
- (7) 第26回北海道建築作品発表会について (小篠/資料1-7)
- ・ 12月1日開催(登録締め切り9月22日)
  - ・ 昨年と同様であるが、作品集掲載料を25,000円とした。
- (8) 支部共通事業設計競技「近代産業遺産を生かしたブラウンフィールドの再生」の支部入選について (久保田/資料1-8)
- ・ 支部入選は、今年度2作品。本部で選考されると学会大会で公開審査となる。
  - ・ 本設計競技の支部審査を兼用して、学部学生を対象とした独自の賞を与えている支部があり、会員確保の手段として参考となる。
- (9) 後援依頼について (久保田/回覧資料)
- 1) (社)北海道建築士会より「安藤忠雄特別講演会」
  - 2) (社)北海道建築設計事務所協会より「第31回北の住まい住宅設計コンペ」
  - 3) 北海道立三岸好太郎美術館より「平成18年度特別展モダン建築の夢」
- ・ 3件とも後援承認。
- (10) 常議員の役割担当について (久保田/資料1-9)
- ・ AIJ-JIA 企画委員会と AIJ-JIA 運営委員会のメンバーの重複が多いことと2委員会が合同で開催されることが増えていることから、AIJ-JIA 企画運営委員会として一本化する。
  - ・ AIJ-JIA 企画運営委員会メンバーを長年されている福島さんは、退任、小篠さんに入ってもらおう。  
(絵内、小篠、城、奈良、那須、羽山、横山の6名)
- (11) その他
- ・ ホームページ管理委員会の件、会はあるがメンバーが不在であること、暫定的に総務委員会で管理していることから、今後の対応について協議を要する。(先ず、支部長、ホームページ管理委員会関係者、常議員幹事により協議し、方針案を作成する)
  - ・ 建築学会大賞候補者推薦の件、例年秋に本部から推薦の依頼がある。事前の対応(本部の委員会への働きかけなど)を行うべきが必要と思われる。